

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-011

PDCA	事務事業名	任坊山公園整備事業	部課等名	建設部 都市計画課 公園 緑地担当	担当 内線等	浅川 449	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第3節 うるおい空間の形成					
		基本施策： 1. 公園・緑化・親水空間					
		単位施策： (1) 公園・緑地の整備					
		個別施策： ①公園の整備					
根拠法令等	都市公園法						
対象・目的	任坊山公園の未供用部である宮池エリアを自然や水辺に親しめる公園として整備する。						
目的を達成するための手段・活動内容	平成30年度：公園整備工事（造成） 令和元年度：公園整備工事（公園施設整備）						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①公園整備工事		-	-	1	式
		事業費		-	-	84,422	千円
		人件費		-	-	5,621	千円
		総事業費		-	-	90,043	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
		①公園整備工事		-	-	90,043	千円
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①公園整備事業の進捗率	実績値	-	-	21.1	%
			目標値	-	-	21.1	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の 評価・課題	B					
		着工前に有識者立会いのもと残すべき樹木の選定を行うなど、既存の自然を極力残すように努めた。また、造成に必要な12,500㎡の土砂を民間事業者より無償で受け入れることができたため、コストの縮減が図れた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持				
			「任坊山公園を考える会」で決定されたコンセプト「自然を感じ、健康を育む公園」として整備し、地域の人たちに親しまれ、多くの人に利用される公園として、令和2年4月の供用開始を目指す。				
		令和元年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			公園整備事業の進捗率		100	%	